

## 尿中馬尿酸：果実等〔キナ酸〕の摂取

### 環境・健康

果実等に含まれるキナ酸は、体内で代謝され安息香酸⇒馬尿酸となって尿中に排泄されます。キナ酸を含有する果実、加工食品、加工飲料などは、尿中に排泄された馬尿酸が尿を弱酸性にし尿路感染症を予防することから健康食品として販売されています。キナ酸を含有する代表的な果実等を下記表に示しました。

果実等の食品から摂取したキナ酸は、代謝され尿中に馬尿酸として排泄されるため、トルエンのばく露がない作業中でも、その摂取量と検体尿採取のタイミングなどによっては尿中馬尿酸の分布区分が『2』或いは『3』となることがあります。

キナ酸を含有する果実等

品名	キナ酸含有量	参考文献等
プルーン	約 4 g/100 g (可食部あたり)	栢野 (2004)
クランベリー	約 1000 mg/100 g (青果)	農林水産消費安全技術センター (2002)
	710 mg/100 g (100%果汁)	メーカー表示値
キウイフルーツ等	500~1620 mg/100 g (果実)	西山ら (2008)

### kes サポート

課題	kes サポート
尿中馬尿酸の検査値に影響する食品の摂取	情報の提供など
作業中のトルエンのばく露状況の調査	尿中トルエン、血中トルエンの検査
	個人ばく露モニタリング (トルエン)